

(1) 空とぶキューはゴークルルルーンと、大空をとんでいきます。あとからブラックバードの手下のヒコーキがおいかけてきます。キューの中では

(2) 「先生、たいへんよ、黒いヒコーキがたくさんこっちへ来たわ」「なアに大丈夫だ。わしはゆつくり山へかえるよ」と話しています。そのうち、

(3) ダダダダーと、ヒコーキから空飛ぶキューがけてうつてきました。しかしうつたタマは

(4) ターンクルリ シュツと、キューにあたるとすべつてはじきかえされてしまします。

(5) 「やツ、これはいくらうつてもタマがムダだぞ」「ウム、あたつてもはじきかえされてしまう」「あ…キューがおそろしい早さでうごき出したぞー」

(6) ヒューン クルルルル ゴー わをえがいて空飛ぶキューは、空をまわりはじめました。クルルルスー、するとどうしたことでしょう

(7) ザブーン ドブーン と、海の中へつぎつぎに落ちてしまふではありませんか。空飛ぶキユーの中では

(8) 小人ハカセがミドリに「ごらん、悪いヒコーキは片づいただろう」「まアおどろいた。ナゼでしきう、みんな落ちてしまふなんて」「ウム、あれはね、キューが早くとんで空気をうごかしてエアポケットを作ったのだ」

(9) 「空気の穴ができたから、ヒコーキはみんな穴へおちたのさ」と、小人ハカセが説明しているうちに、空とぶキューは日本の山の中へかえつてきました。

(10) こちらは手下をみんな落とされたブラックバードです。「ウーム、にくいやつはあの空飛ぶキューだ。しかし、あれをうごかしているのはダレだろう」「はア、何でも日本の山の中から来るようですが」

(11) 「わかつた、小人ハカセにちがいない。小人ハカセは日本一のチ工者だ。しかし、オレは負けないぞ。今に小人ハカセをやつつけてやる。よし、今夜光に乗つて小人ハカセのところへいつてみよう」さて…